

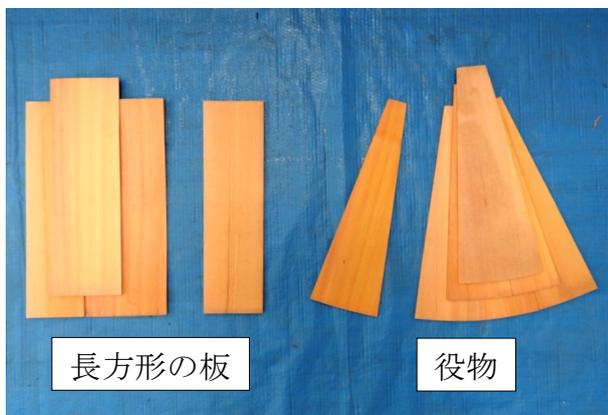
# 屋根葺替工事 Vol.4

## ・屋根の美しい曲線を作り出す 2018. 5. 8

屋根葺替工事は3層目が完成し、2層目、1層目へと作業を進めています。今回は、屋根葺きに使うこけら板の中でも「<sup>やくもの</sup>役物」と呼ばれる特殊な板について紹介します。

こけら板の多くは長方形の形をしていますが、屋根の四隅や唐破風<sup>からはふ</sup>などに使われる板は特に「役物」と呼ばれ、特殊な形状をしています。「役物」は、並べると美しい曲線を描くように調整されているのに加え、サワラの木を割って薄いこけら板を作る際に割る方向を変えることで、板自体が曲がりやすくなっています。この、曲がりやすく、美しい曲線

を描く「役物」を用いて、葺き師(屋根葺職人)が飛雲閣屋根の美しい曲線を作り出していきます。



▲ こけら板を並べた様子

同じ木材でも加工の方法により曲がりやすくなる



▲ 2層目の唐破風(中央が膨らんだ形の部分)



▲ 3層目屋根の隅